

JR東労組 ちば

東日本旅客鉄道労働組合
千葉地方本部

千葉県千葉市中央区椿森1-8-3
Tel.043-251-6020 056-2937

発行人:中曽根 賢次
編集人:情 宣 担当



2022



迎春



今年もよろしくお祈りします

中曽根執行委員長新年あいさつ

あけましておめでとうございます。組合員・ご家族・OB会の皆さまには昨年一年間、「JR東労組千葉地本の活動に、ご理解、ご協力いただき大変感謝申し上げます。今年も、私たちは組合員とその家族のみなさまが安心して暮らせることを念頭に、各種課題に取り組んでまいります。

昨年、本部は「変革2027」の実現に向けた組織の再編について「提案を受けました。営業・運車・設備・企画部門のどの部門も関係してくる大変大きな施策です。提案資料などを読むと、企画部門で担当していた多くの業務が現場に移管されるようになっており、支社などの企画部門がスリム化されるようなイメージになっています。また兼務という文字も多く出て来ている。組織を大きく変化させるようなことを、会社が提案してきたことがよく分かります。それ以前に、私たちを取り巻く環境は、社内外を問わず大きく変化していると感じることが、皆さまの中にもあるのではないのでしょうか？私自身も日々の業務を行っていて、生活をして、感じる事が多々あります。

新たな施策が実施されても、全ての労働者を置き去りにしてはなりません。そのためには、提案された内容に対し、賛成か反対かだけの議論では、私たちは全員が置き去りにされるおそれがあります。そうさせないためには、職場での議論を積み重ね、安全を脅かすことなく、安心して働ける職場にするための施策は何か」ということを私たち自身が描く必要があります。そして、施策実施後の検証も重要です。施策実施前に労使で妥結した内容が、守られているのか。職場の現実が、安全で安心して働ける環境となっているかなどを検証できる組織をとにもめざしていきたいでしょう。

21春闘では、ペアゼロであり、さらに定期昇給も所定昇給額の半分という結果となりました。私たちはこの現実をバネに夏季・年末の手当獲得のたまたかに臨んできました。職場の議論を積み重ね、再申し入れをしてきましたが、会社の回答を覆すことができませんでした。

この間、職場で現れているのは、赤字なのだからペアがなくても・手当が少なくても仕方ないといった社内世論が作られていることです。組合員のみならずは本当にそのように思いますか？私が第一に思うのは、何のために働いているのか、何のために会社に勤めているのかということ。会社の黒字化はとても重要なことです。しかし、会社がいくら黒字化したとしても、家計が赤字になってしまったりは働いている意味がないのではないのでしょうか。春闘・期末手当の交渉での会社の回答は私たちの生活実感に即しているとは言えません。22春闘では、交渉団に私たちの思いを託すことだけではなく、職場で生活実感を掴み、賃上げが必要である」という雰囲気をつくり出していくことが必要です。この22春闘は、安心して生活できる賃金の実現に向けてのたかいであり、すでに始まっています。

昨年組織拡大を実現することができました。施策も、賃金も要求実現のために組織力が必要です。今年も組合員が相互に協力し合うことにより、未加入者に対して安心して加入してほしい」ということをアピールして、組織の強化・拡大を続けていきたいと思います。安全・健康・ゆとり・働きがいある一年となりますよう、ご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

美世志会新年あいさつ

JR東労組千葉地本に結集するすべての仲間の皆さん、新年おめでとうございます。

2002年11月1日に発生した「えん罪・JR浦和電車区事件」は、今年の11月で20年が経過します。長きにわたって美世志会とその家族を守り抜いていただいていることに心より御礼を申し上げます。

2007年7月17日の刑事裁判第一審判決のみを根拠に、私たちはJR東日本から懲戒解雇されました。この会社の冷徹な本質は、現在の様々なハラスメントや不当労働行為、また施策の進め方での不誠実な対応などに現象化しています。

このような中で、千葉地本の皆さんは、要求実現と組織拡大は両輪」と位置づけて職場から実践し、多くの再加入を勝ち取ったことは、大きな教訓となります。

JR東日本会社は、現場で苦闘している組合員の現実を踏まえ、決めたことには「従え」と言わんばかりの対応に終始しています。今こそ、美世志会を守り抜いてくれた労働者魂をさらに発揮し、JR東労組運動の原点である「組合員の利益を守り抜く」ために、さらなる組織強化・拡大に向けて共にたたかきましょう！今年もよろしくお祈りいたします。

美世志会一同

第42回定期地本委員会

日時:2月24日(木)12:30
場所:TKPガーデンシティ千葉

鉄道ファミリーは
組合と共に歩み
皆様をしっかりとサポートします

今年もよろしく
お祈りします



迎春

JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
電話 JR 058-4114-5 NTT 03-3490-3862